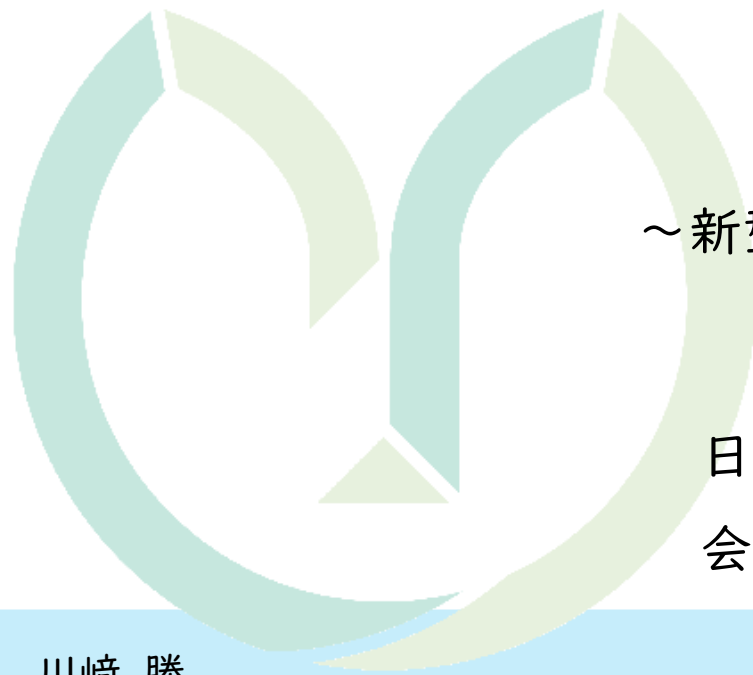




山口大学研究プロジェクト

コロナの時間学

～新型コロナウイルスが人間と社会に対して与える時間的影響～

成果報告会

日時：2021年12月21日（火）13時30分～17時00分

会場：吉田キャンパス事務局2号館4階 第2会議室



1. 川崎 勝
『パンデミックとグローバリゼーションの歴史学』
2. 齊田 菜穂子
『成人期の人々の夕食終了から就寝時間までの過ごし方と健康状態との関係』
3. 森 朋也
『コロナ禍による生活の変化と「時間」のあり方について』
4. 赤松 良久
『新型コロナと水害の複合災害リスクへの適応～命を守るための避難タイムラインの検討～』
5. 麻川 明俊
『遠隔業務を加速するための水熱合成のその場観察技術の応用検討』
6. 安達 圭一郎
『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する病気認知が一般市民のメンタルヘルスに及ぼす影響』
7. 足立 亮介
『マルチスケール SIR モデルのネットワーク構造に着目した感染症の時間発展の解析と制御』
8. 生田 奈美可
『コロナ禍における看護師のワーク・ライフ・バランスの実態』
9. 今井 啓之
『ポストコロナに向けた新しい研究室活動様式への展開～研究ルーチンワークに対する時間的・心理的負担の把握～』
10. 渡邊 健太
『環境中におけるレジオネラの生態にコロナ禍がもたらした影響の継時的解析』

11. 角川 博哉
『コロナウイルスは排卵・妊娠開始のタイミング調節役ゴナドトロフ細胞の機能を低下させ不妊の原因になるか？』
12. 小柴 満美子
『新型コロナウイルスに係る生活リズムの乱れの精神への影響』
13. 鈴木 素之
『わが国において災厄の連鎖が起こった時期の周期性の解明』
14. 高橋 雅子
『授業に対する没入感や不自由さが授業時間の長さのイメージに及ぼす影響』
15. 西垣 一男
『SARS-CoV-2 感染に対する感受性遺伝子の探索』
16. 浜島 清史
『コロナ禍における山口大学等の労働時間に関する変容の研究』
17. 山口 睦
『コロナ禍の民俗調査において流れる時間の比較——対面、電話、オンライン調査』
18. 山本 直樹
『新型コロナウイルス感染症 COVID-19 蔓延による社会生活変化に与える時間学的影響について』
19. エムデ・フランツ
『コロナが妨げる「正しい」時間の使い方～文学が描く正体の解らない相手』

発表時間：10分／ひとり
(質疑応答含む)

問合せ先
山口大学時間学研究所事務室
TEL：083-933-5848 MAIL: sh076@yamaguchi-u.ac.jp